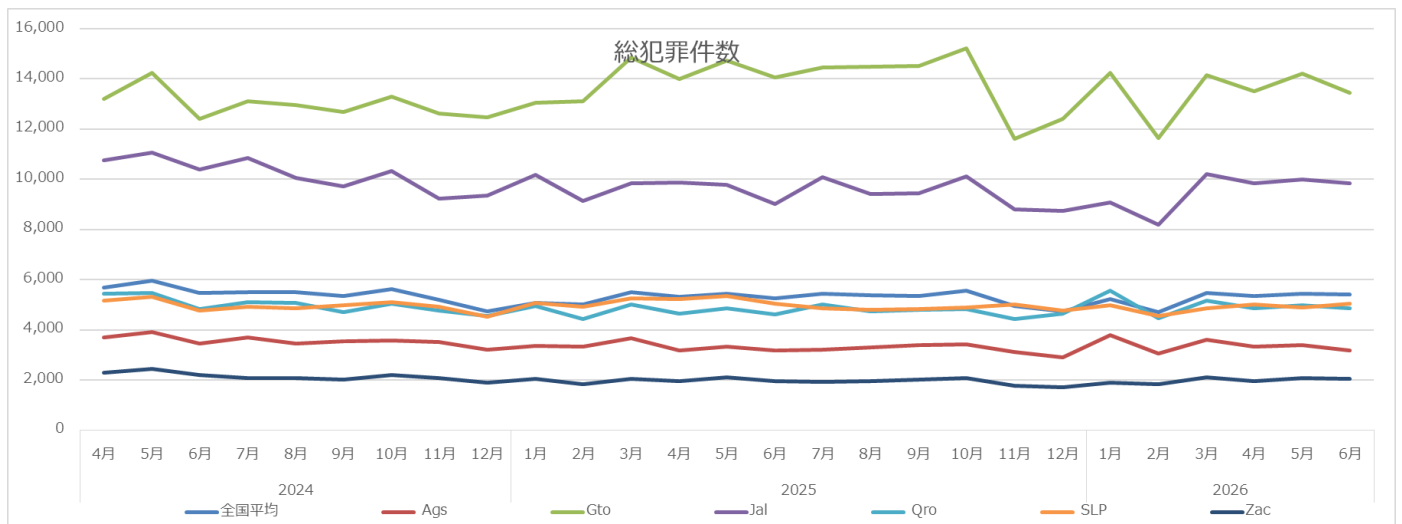


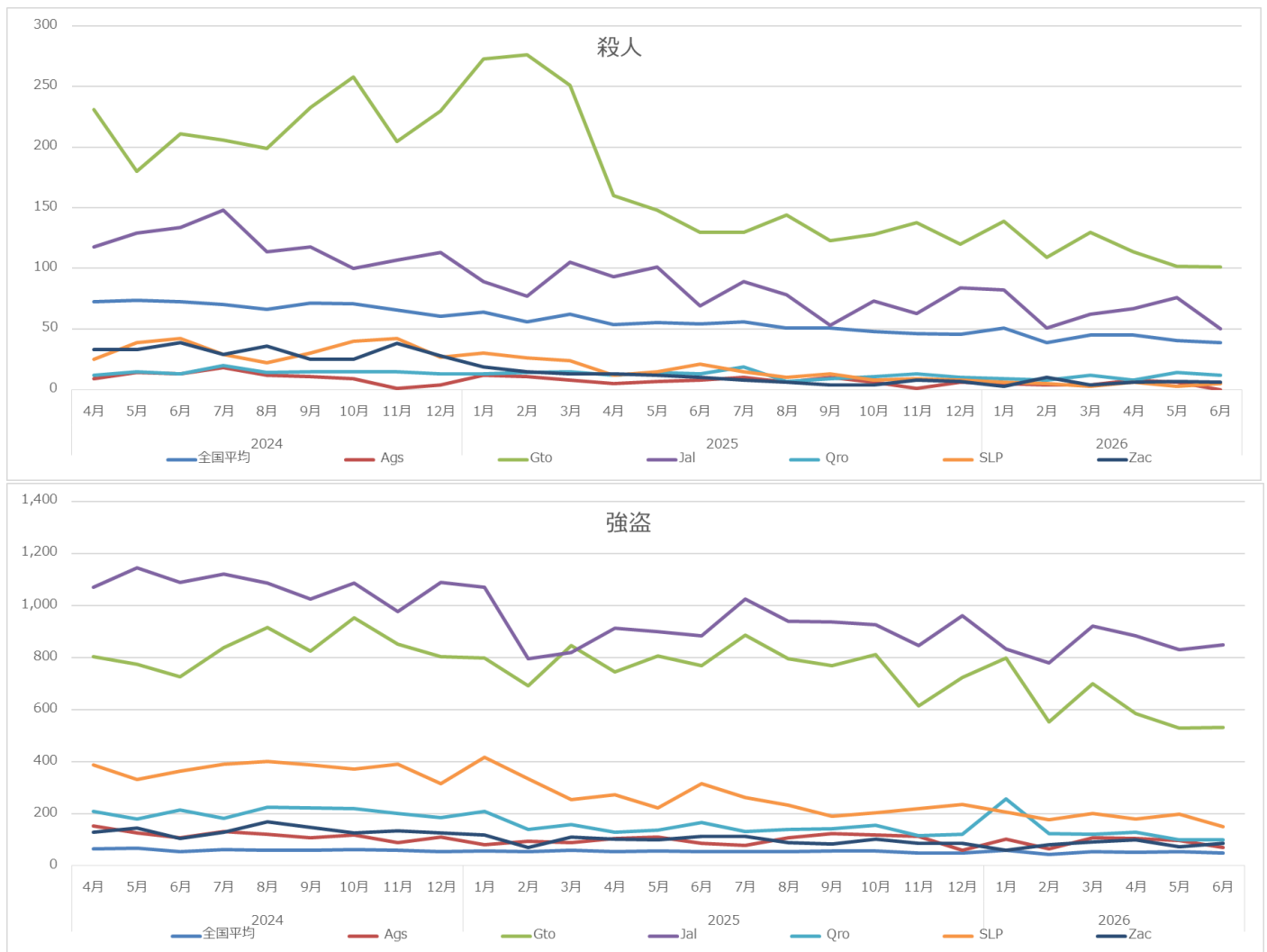
1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数の麻薬カルテルが存在しており、殺人の多くは麻薬カルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、殺人が最も多く発生している州であり、2025年は2,021件で全国1位でした。2026年2月22日には、メキシコ連邦政府により、CJNGの最高幹部を標的とした掃討作戦が実施されました。今後、同カルテルによる治安機関に対する報復活動が発生する可能性も否定できないことから、特にハリスコ州及びグアナファト州ではカルテルの活動が活発である点を踏まえ、治安機関から発出される最新の治安情報に十分留意してください。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われていますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれる可能性があるほか、誤認により殺害されるケースも見られるため十分注意が必要です。

グアナファト州では特にセラヤ市からアパセオ・エル・グランデ市周辺の連邦高速道路45D号線では、車両への襲撃事件が引き続き発生しているほか、イラプアト市など邦人が多く在住する都市において殺人が急増しています。

メキシコではいずれの州においてもカルテルが活動しており、複数のカルテルが1つの州内で活動している場合がほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件などが発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けてください。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約616万人 犯罪認知総数（4月～6月）41,125件

殺人事件の件数はここ数年徐々に減少しつつあるものの、依然として高い水準にあり、予断を許さない状況が続いています。また、カルテルによる事件も引き続き発生すると考えられます。こうした治安状況の中、特に車両強盗被害は依然として多く発生しており、注意が必要です。

車両強盗被害は、幹線道路及び高速道路の中でも、特に幹線道路45号線及び高速道路45D号線において確認されています。2025年1月から12月までに当館へ報告のあった州内の車両強盗による邦人被害は、未遂を含め5件でした。

都市間移動に際しては時間帯等を考慮した運行計画を立てることが重要ですが、通勤時間帯を含め、日中・夜間を問わず車両強盗被害が継続して発生しています。例えば、複数の車で移動するとか、警護車をつけることなど、より厳重な対策をとることを検討ください。被害者の国籍を問わず、SUVタイプ及びピックアップタイプの車両が対象となりやすい傾向が認められます。

・邦人被害（4月～6月）4件

●路上強盗及び短時間誘拐

4月16日9時頃、邦人男性がケレタロ州の自宅付近を走行していたタクシーに乗車し、高速道路45D号線上を走行中、ピックアップトラックに乗った武装集団により、車両を停車させられた。犯人らは拳銃を用いて運転手を脅迫し、被害者を別の車両に乗り換えさせた。被害者は目隠しされた状態で連行され、携帯電話、パソコン及び金品等を奪われた後、解放された。

5月17日20時頃、車両（SUVタイプ）でレオン市内を北西方面に向け高速道路45D号線を走行中、

ホイールが破損したことから、路肩に停車し、タイヤ交換を行おうとしたところ、刃物を所持した男1人から脅迫を受け、バッグ（パソコン、携帯電話1台、パスポート等在中）及び工具箱を奪われた。

→ 流しのタクシーの利用は避け、配車アプリ等により車両・運転手情報を事前に確認できる手段を利用するとともに、乗車前に車両番号等が一致していることを確認してください。移動時は可能な限り単独行動を避け、高速道路利用時は複数台で走行するなど安全確保に努め、行程を社内や家族と共有してください。高速道路上で車両に異常が生じた場合は、急停車せず、周囲の安全を確認した上で、可能であれば料金所やガソリンスタンド等の安全な場所まで移動してください。

現金、カード、旅券、携帯電話等の貴重品は分散して携行してください。万が一、強盗や誘拐等の被害に遭った場合は、抵抗や犯人を刺激する言動を避け、生命・身体の安全を最優先に行動してください。

●車両強盗

4月24日12時頃、車で移動中、セラヤ市周辺において、SUVに乗った武装集団が銃器を向けながら幅寄せし、接触しつつ停車させようとした。その後、犯人側の車両が操作を誤って自損事故を起こし横転したため、邦人男性は現場から離脱することができた。

→ 高速道路45D号線では、特にアパセオ・エル・グランデ市～セラヤ市間で車両強盗が多発しています。昼夜を問わず被害が発生しているため、州境付近や州を跨いで移動する際は、経路や時間帯を十分検討してください。

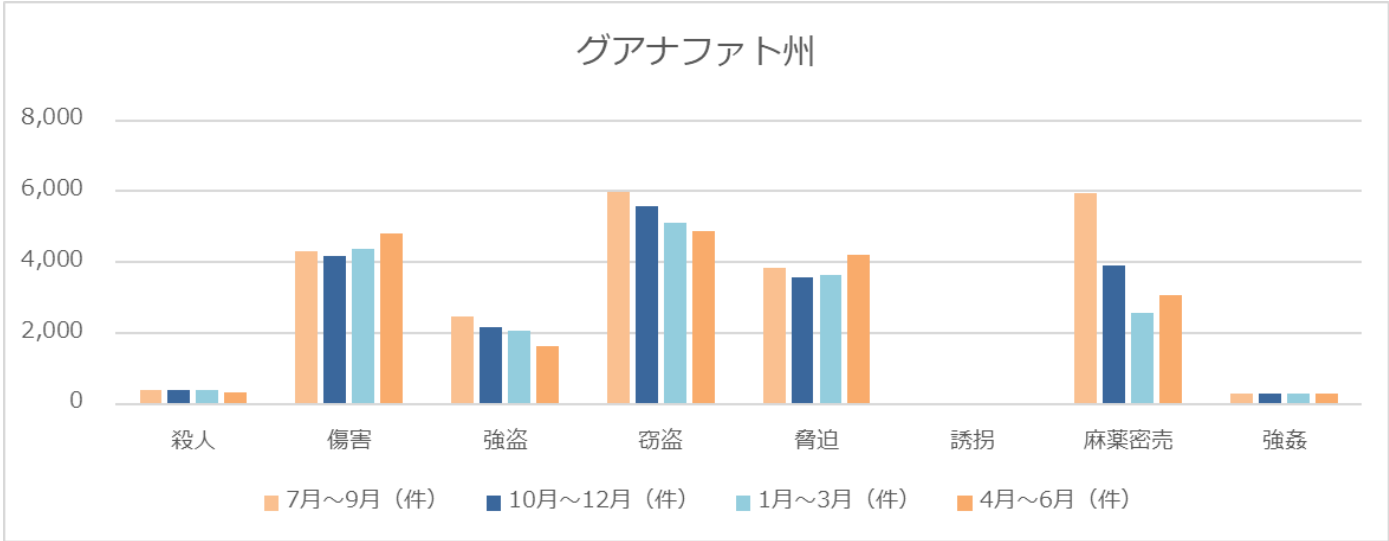
また、車両強盗は銃器の使用や道路封鎖を伴う場合が多く、万が一遭遇した際は、無理に逃走・抵抗せず、犯人を刺激する言動を避け、生命・身体の安全を最優先に行動してください。

●車上あらし

5月7日19時～21時、自家用車で帰宅途中、イラブアト市西部の店舗へ立ち寄り、駐車場に車両を駐車。用を済ませて車両へ戻ったところ、左側後部座席の窓ガラスが割られていることが判明した。車内には荷物を置いていなかったことから、被害は窓ガラスのみであった。

→ 車上荒しに遭わないためにも路上駐車はせず、公共の駐車場を利用してください。路上駐車となることが事前に分かった場合は、自家用車を利用せず、配車アプリ等の利用を検討してください。また、僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛けて、パソコンやスマートホン、パスポートなどの貴重品やバッグは、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不必要なものは、なるべく持たないようにしてください。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	397	386	378	317
傷害	4,312	4,171	4,374	4,827
強盗	2,452	2,151	2,051	1,646
窃盗	5,972	5,597	5,102	4,865
脅迫	3,840	3,563	3,633	4,198
誘拐	3	4	3	0
麻薬密売	5,947	3,920	2,557	3,067
強姦	307	291	277	284



(2) アグアスカリエンテス州

・人口約 1 4 2 万人 犯罪認知総数 (4 月～6 月) 9, 9 1 2 件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率 (人口の割合) では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市内で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する場所は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底してください。

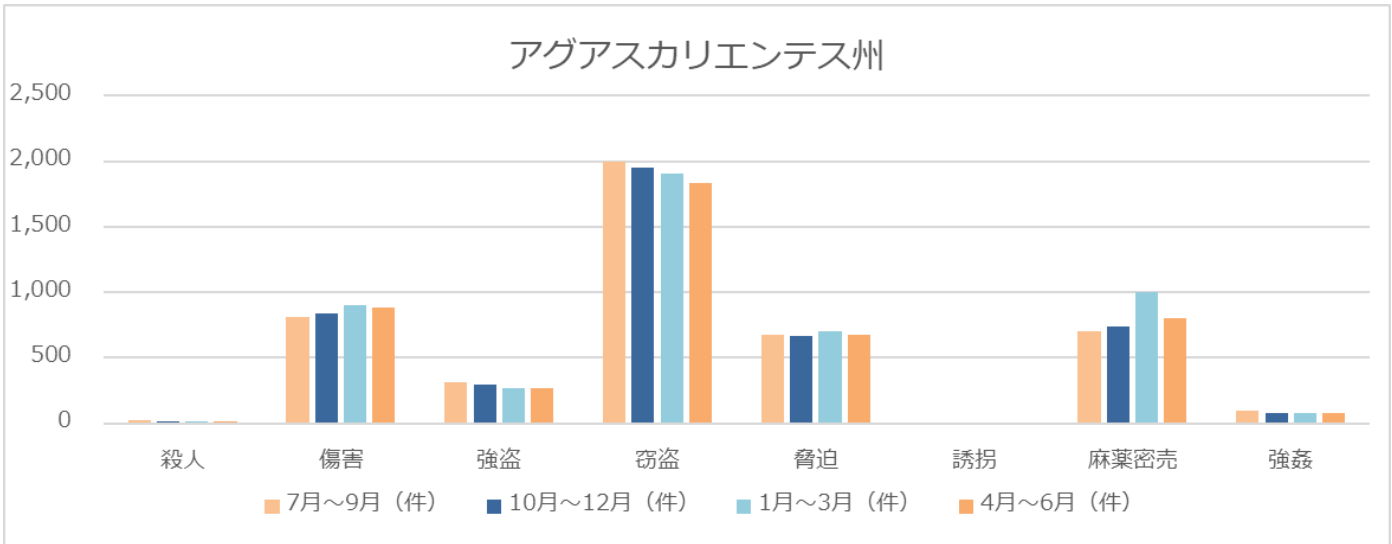
・邦人被害 (4 月～6 月) 1 件

●路上強盗

5 月 2 3 日 2 2 時頃、アグアスカリエンテス市内のコンビニエンスストアで買い物をした後、自宅へ徒歩で帰宅途中、フルフェイスヘルメットを着用した男 2 人が乗車するバイクに襲われた。犯人らはマチェーテ (藪払い用の大きなナイフ) のような刃物を示しながら邦人男性を脅迫し、携帯電話、財布、現金、各種カード類、帽子等を奪って逃走した。

→ 夜間や人通りの少ない場所の通行はできる限り避け、移動時は不審者や周囲の状況に十分注意してください。歩行中の携帯電話操作やイヤホン使用などの「ながら歩き」は犯罪被害のリスクを高めます。現金、カード、旅券等の貴重品は分散して携行し、万が一被害に遭った場合は、抵抗せず生命・身体の安全を最優先に行動してください。

■主な犯罪	7 月～9 月 (件)	10 月～12 月 (件)	1 月～3 月 (件)	4 月～6 月 (件)
殺人	26	13	13	14
傷害	811	843	902	882
強盗	310	292	273	273
窃盗	1,994	1,948	1,908	1,834
脅迫	675	663	704	673
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	702	743	1,004	807
強姦	95	80	83	83



(3) ハリスコ州

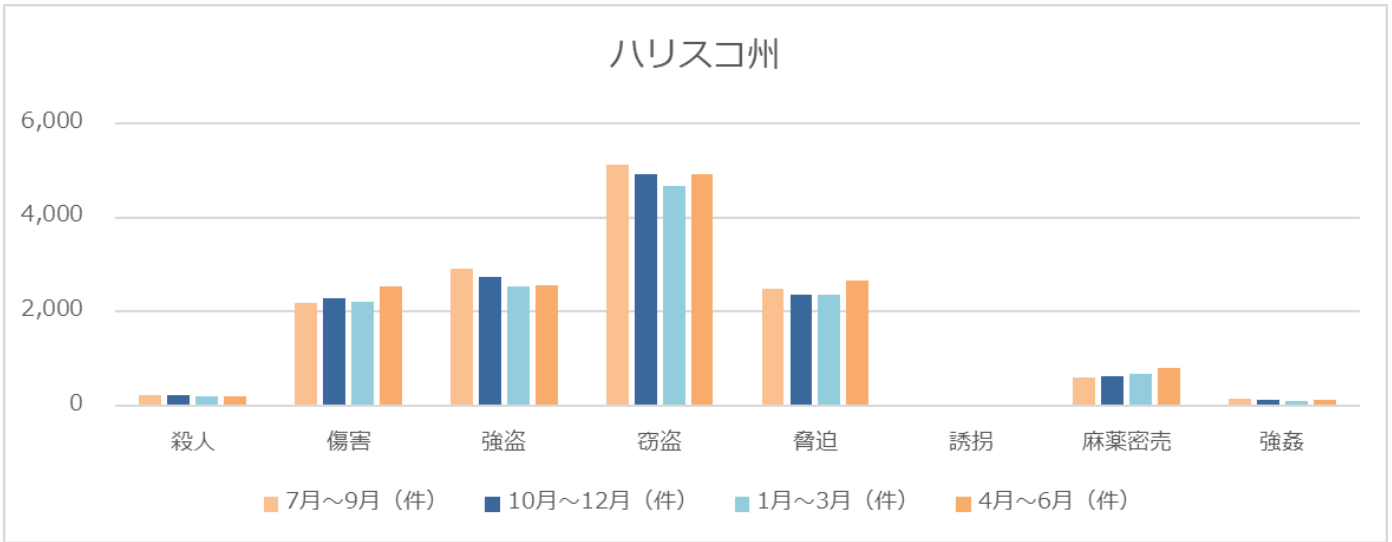
・人口約 8 3 4 万人 犯罪認知総数 (1 月～3 月) 2 9 , 6 5 6 件

窃盗及び強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く、注意が必要です。高速道路路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。旅行者、出張者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害 (4 月～6 月) 0 件

4 月～6 月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7 月～9 月 (件)	10 月～12 月 (件)	1 月～3 月 (件)	4 月～6 月 (件)
殺人	220	220	195	193
傷害	2,184	2,272	2,209	2,546
強盗	2,903	2,734	2,535	2,564
窃盗	5,126	4,909	4,678	4,915
脅迫	2,477	2,356	2,361	2,660
誘拐	3	4	1	4
麻薬密売	611	622	686	803
強姦	146	112	108	132



(4) ケレタロ州

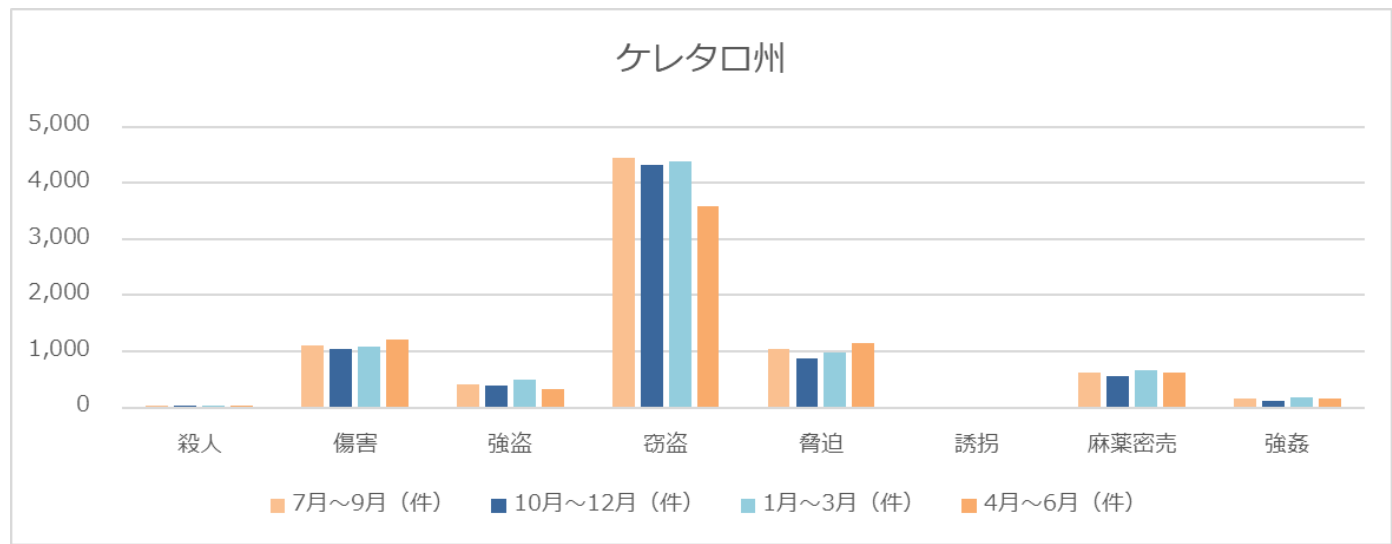
・人口約236万人 犯罪認知総数（4月～6月）14,709件

殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市内で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナフアト州やメキシコ州の治安が不安定であり、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路や幹線道路など多車線道路を利用してください。

・邦人被害（4月～6月）0件

4月～6月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	35	34	29	34
傷害	1,101	1,052	1,076	1,221
強盗	414	394	500	330
窃盗	4,457	4,320	4,385	3,593
脅迫	1,037	868	977	1,140
誘拐	0	0	0	2
麻薬密売	625	555	658	633
強姦	170	126	181	166



(5) サンルイスポトシ州

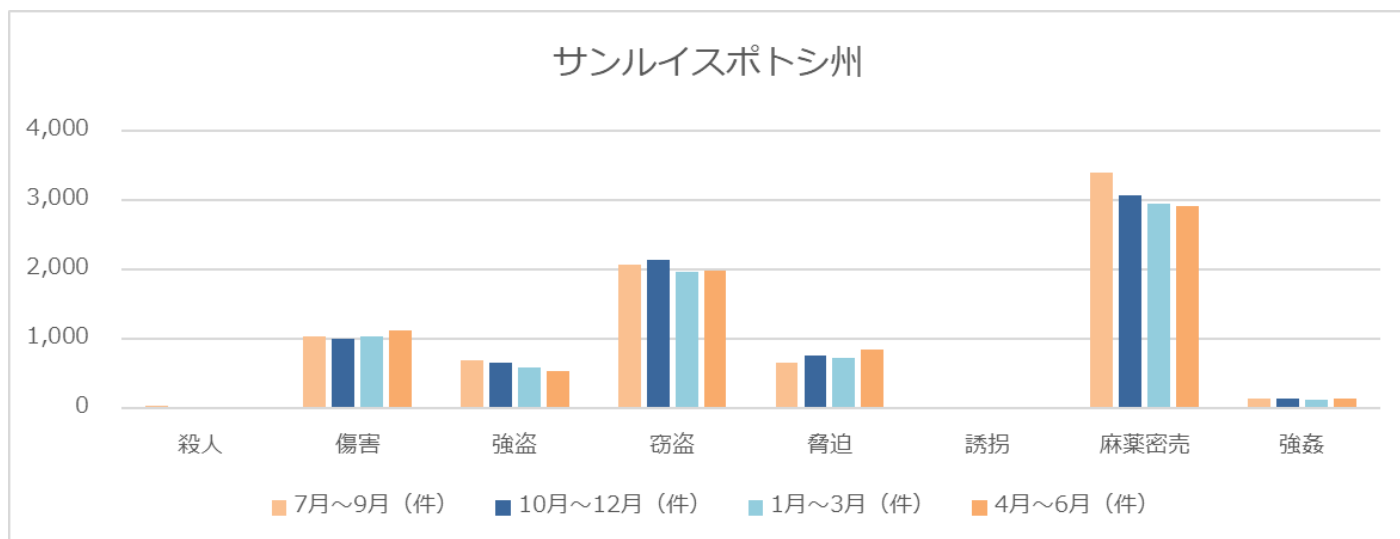
・人口約282万人 犯罪認知総数（4月～6月）14,927件

強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率（一定人口当たりの割合）も高くなっています。また、麻薬に関連する犯罪も顕著に増加しており治安が悪化する傾向にあります。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件も発生していますので、十分注意をしてください。

・邦人被害（4月～6月）0件

4月～6月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	38	25	14	14
傷害	1,034	1,008	1,041	1,125
強盗	687	658	585	528
窃盗	2,073	2,145	1,975	1,980
脅迫	661	756	722	852
誘拐	1	2	1	1
麻薬密売	3,393	3,069	2,950	2,922
強姦	134	145	118	134



(6) サカテカス州

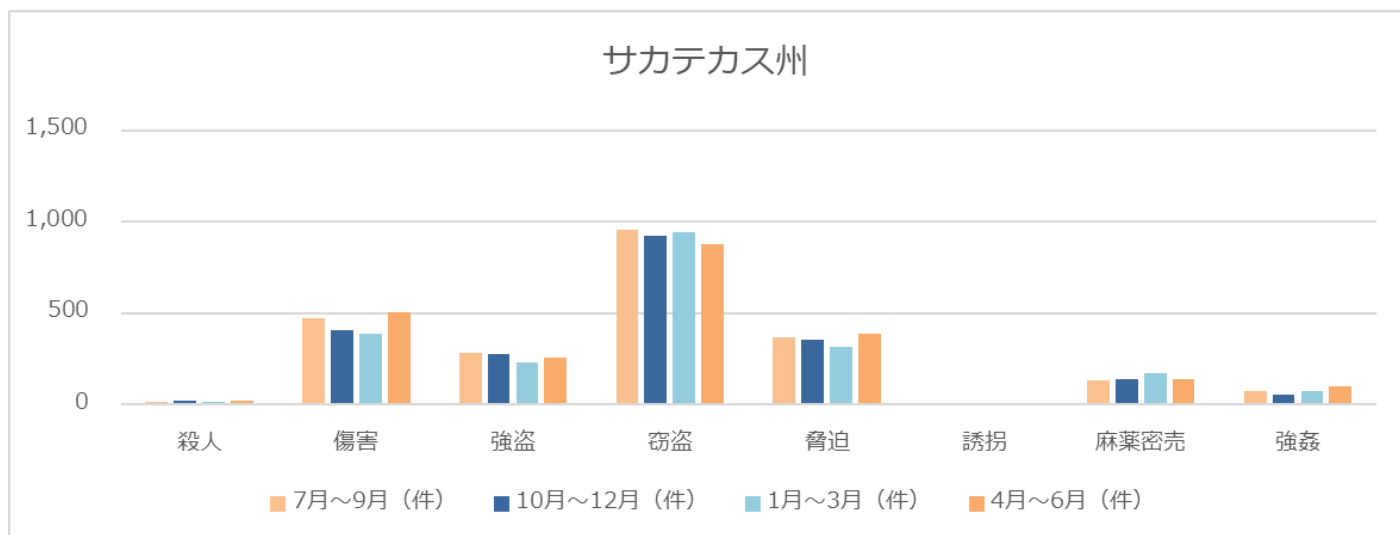
・人口約162万人 犯罪認知総数(4月～6月) 6,059件

殺人件数は、近年では麻薬関係者の抗争が落ち着いていると言われており、減少傾向にあります。しかし、その他の犯罪発生件数は依然として横ばいの状態が続いているため、引き続き十分な注意が必要です。

・邦人被害(4月～6月) 0件

4月～6月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
殺人	18	19	17	19
傷害	475	405	388	508
強盗	285	277	233	259
窃盗	955	925	944	881
脅迫	367	354	313	385
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	133	141	173	136
強姦	77	53	72	97



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が活発化しており、これら組織が関与した銃撃事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りを極力避けるとともに、違法薬物には一切関わらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、銃撃事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の状況に注意してください。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域の通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる殺傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従ってください。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車両関連の犯罪被害が引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地域内では、車両関連の犯罪被害や連邦高速道路45D号線上の強盗被害が目立ちます。連邦高速道路45D号線を利用する際は、可能な限り日中の時間帯に複数人、複数台で行動し、行動スケジュールを家族、友人、会社に事前伝えておくことや、緊急連絡先をメモし携帯しておく、グアナフアト州警察が提供するアプリ「EmergenciasGT0911」をダウンロードしておく、などの対策を検討ください。万が一強盗被害に遭遇してしまったら、気持ちを落ち着かせましょう。犯人は拳銃等を所持している可能性が非常に高いため、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先してください。犯人から解放されたら、周囲に助けを求め、911番（警察、消防、救急への緊急通報番号）に通報するとともに、検察局に被害届けを提出してください。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、検察局（Fiscalía General）に被害届を提出してください。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様にご注意喚起することができます。また、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができますので、ご協力をお願い致します。

5 バヒオ地域以外における日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載していますので、ご参照ください。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上